

合成木材

880-70305

格子ユニット（独立タイプ）

取付説明書

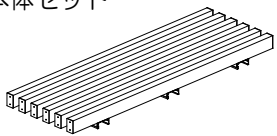
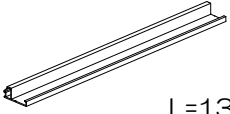






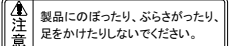
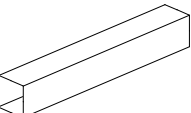
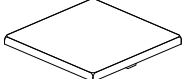

●このたびは、『合成木材 格子ユニット』をご採用いただきましてありがとうございます。

●商品の組み立ておよび施工には、この取付説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

⚠ 設置・施工上の注意

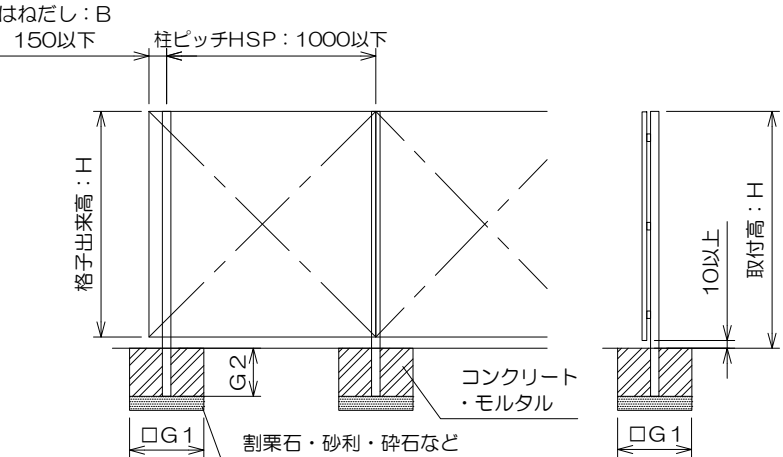
- 給湯・暖房などの燃焼機器の排気ガスまたは車の排気ガスが直接商品に当たったり、滞留しないように設置してください。  
格子材の変形や塗膜の剥がれなどの表面異常が発生するおそれがあります。
- 本製品は隣地境界や間仕切りを目的に設置するものです。手すりや転落防止柵などへの転用及び改造は行わないでください。
- 基礎はコンクリートまたはモルタルを用いて施工してください。
- コンクリートまたはモルタルの養生期間は十分（4～7日）にとり、養生期間中は重量物をのせたり、振動させたりしないよう注意してください。
- 基礎用のコンクリートやモルタルに海砂を使用しないでください。塩分による腐食原因となります。  
また、凝固促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
- 柱を立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを詰めてから柱を立てると、柱内部に水がたまり、凍結破壊の原因となります。
- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。
- 組立ねじは使用中に緩まないように締付けてください。
- 注意ラベルは必ず指定箇所に貼り付けてください。
- 施主様には、1世帯ごとに取扱説明書を必ずお渡しください。

部品の確認

◆製品本体			
●本体セット 	●胴縁補助  L=1300	●胴縁キャップ 	●サラタッピンネジ φ4×20（ガイド付） 
●トラスタッピンネジ φ6×14（3種） 	●ナベテクスネジ φ4×16 	●ワッシャー φ6用  ●スプリングワッシャー φ6用 	●注意ラベル  縦・横 各1枚
◆本体取付部材（柱セット）			
●柱（75角または50角） 	●柱キャップ 	●トラスタッピンネジ φ4×12（1種） 	

施工基準図

施工は下記の基準図に従い行ってください。



■基礎寸法表		
取付高H	G 1	G 2
H<1000	300	300
1000≦H<1400	350	350
1400≦H<1800	400	400
1800≦H≦2500	500	400

組立手順

- 1
- キャップの取付穴の加工
1. 柱上部にキャップ取付用穴φ4.5をあけてください。（図1）

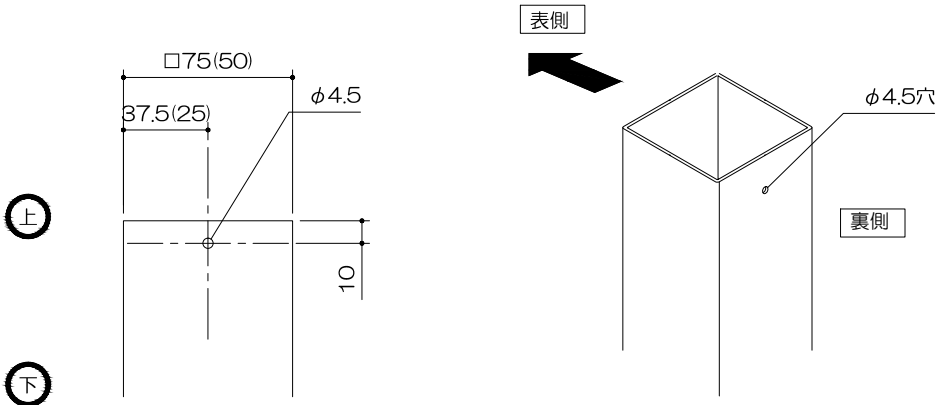


図1. キャップ取付穴の加工

- 2
- 柱の施工

- （1）
- 施工基準図に従い柱位置に穴を掘ってください。
- （2）
- 柱上部に柱キャップを取付け（図2）、柱の間隔・垂直・水平の確認・調整を行い、コンクリートで固定してください（図3）。

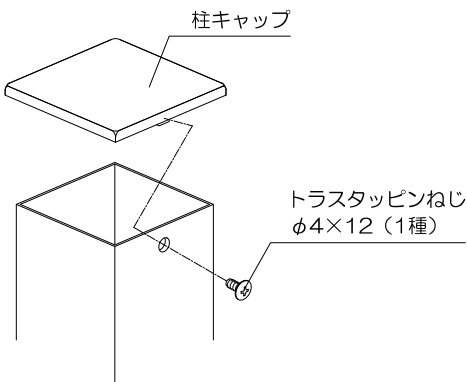


図2.キャップの取付

- 注意
- 基礎が沈んだり傾いたりすることがあるため、必ず割栗石・碎石等を敷いてください。
  - コンクリートが確実に固まるまで、柱に重量物をのせたり、振動させたりしないでください。コンクリートは4～7日の養生期間が必要です。
  - GLから30mmほど上部にφ5程度の水抜き穴を必ずあけてください。

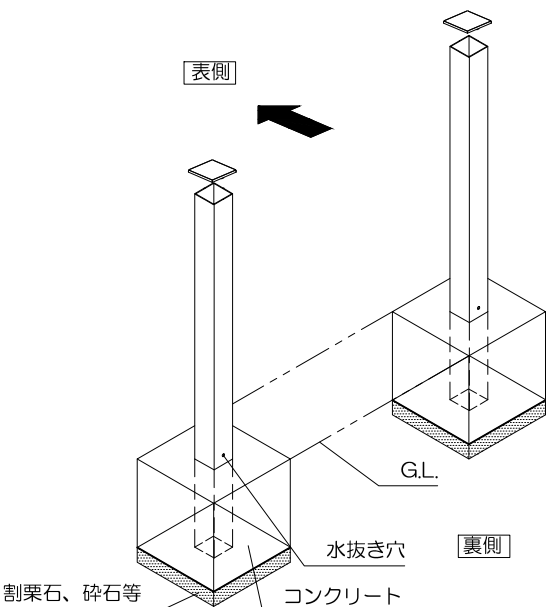


図3. 柱の取付

組立手順

3 胴縁補助の加工

胴縁補助を下図を参考に切断・加工をしてください（図4～6）。

① 1 スパンの時

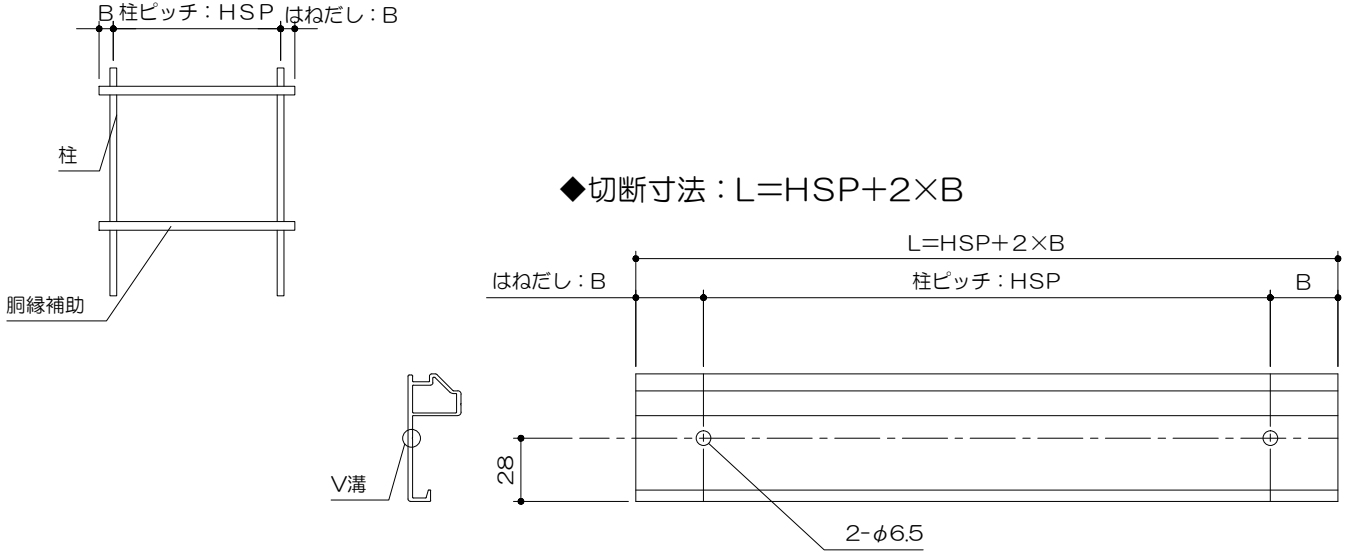


図4. 胴縁補助の加工(1スパン)

② 2 スパンの時

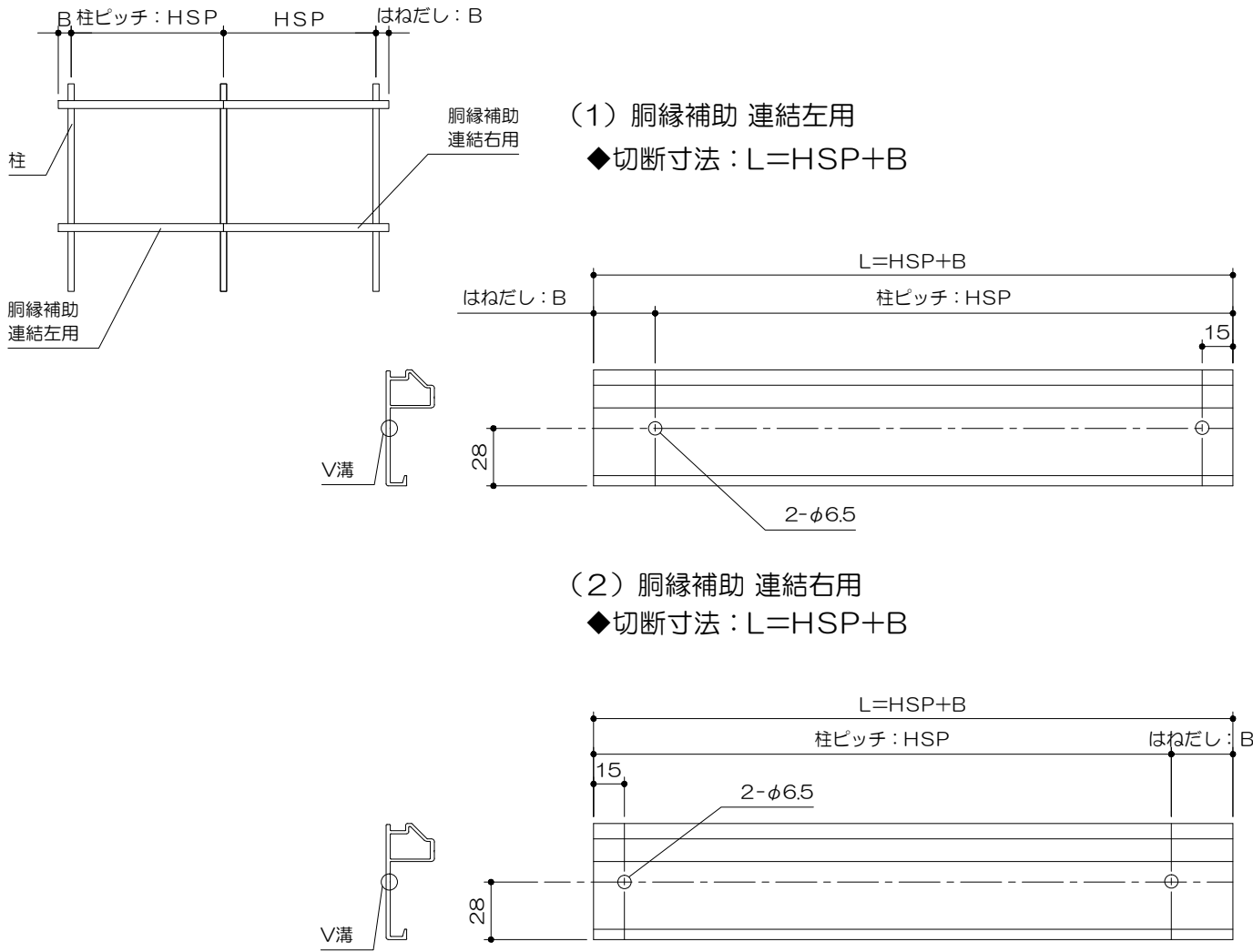


図5. 胴縁補助の加工(2スパン)

③ 3スパン以上の時

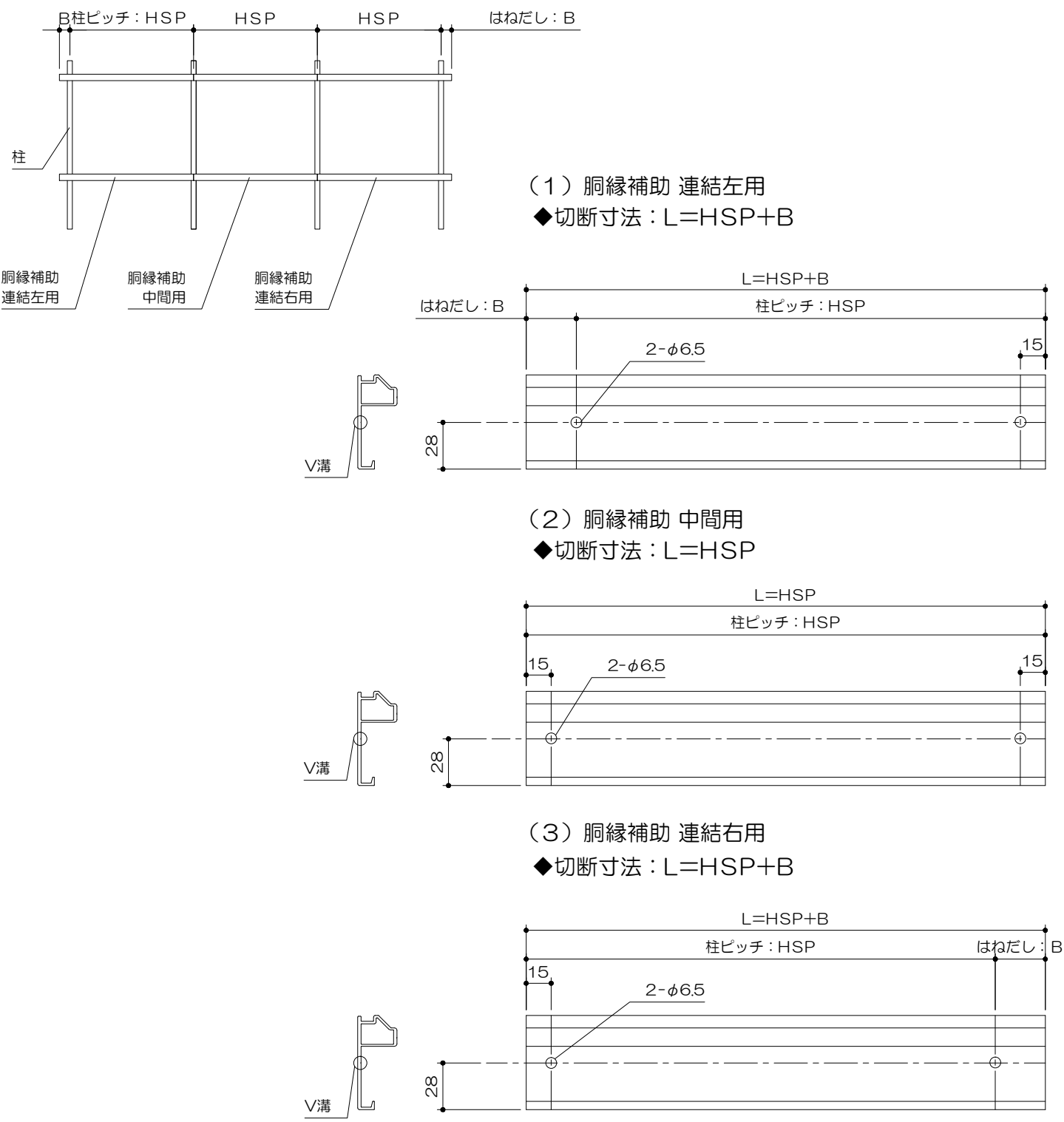


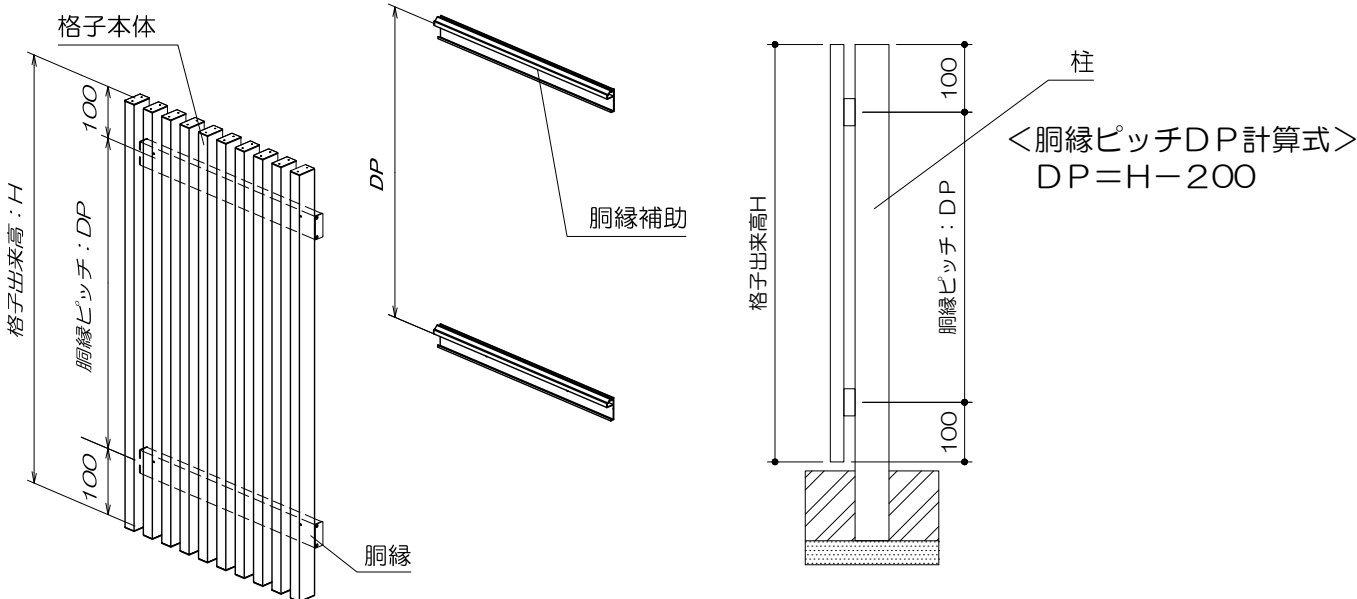
図6. 胴縁補助の加工(3スパン以上)

組立手順

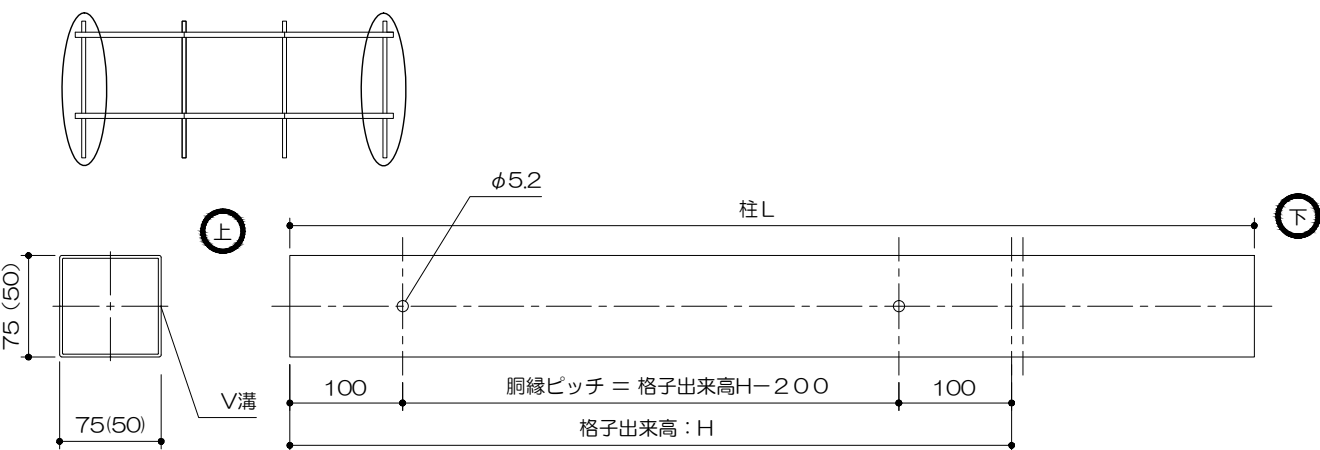
4 柱の加工

胴縁ピッチに合わせて、胴縁補助固定用下穴φ5.2をあけてください（図7～8）。

① 格子出来高：H≦800 の時



(1) 両端柱の加工



(2) 中間柱の加工

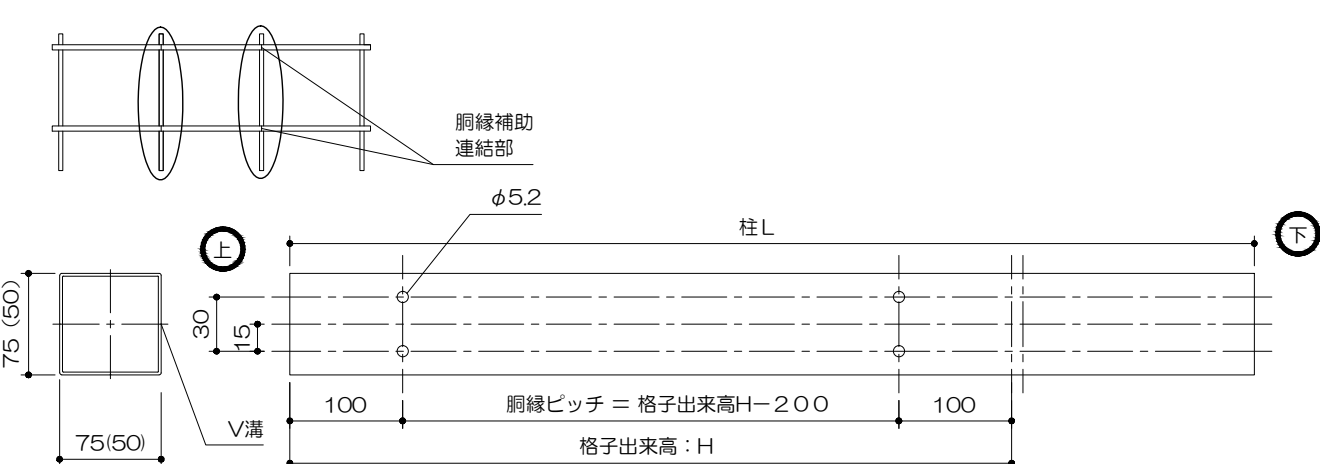
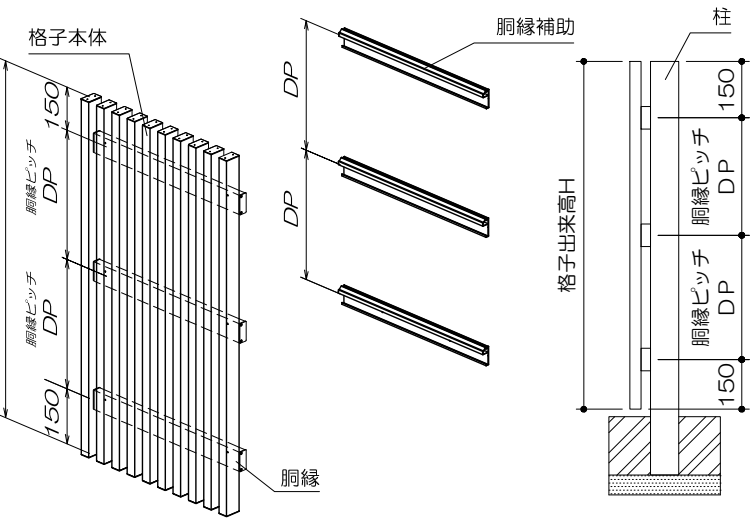


図7. 胴縁補助取付用下穴の加工(H≦800)の時

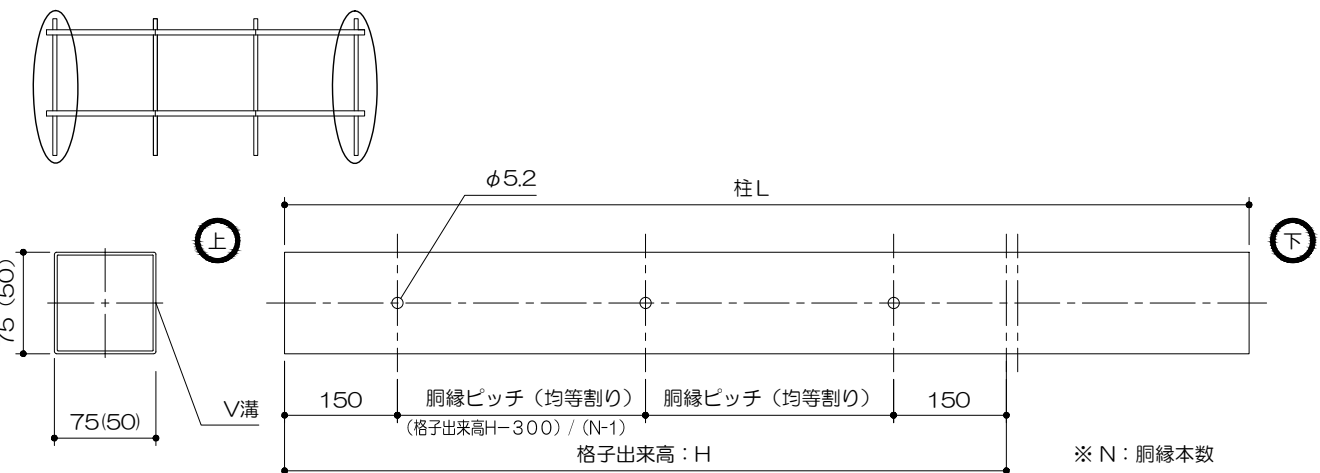
② 格子出来高：H>800 の時



<胴縁ピッチDP計算式>  
 $DP = (H - 300) / (N - 1)$   
N : 胴縁本数 (下表参照)

格子タイプ	格子出来高H	N
30×50格子 30×50格子 (P=80タイプ) 25×75格子 25×100格子 40×80格子	800<H≦1200	2
	1200<H≦2100	3
	2100<H≦2490	4
	2500<H≦2890	5
100×25格子 (板塀タイプ)	800<H≦900	2
	900<H≦1500	3
	1500<H≦1590	4

(1) 両端柱の加工



(2) 中間柱の加工

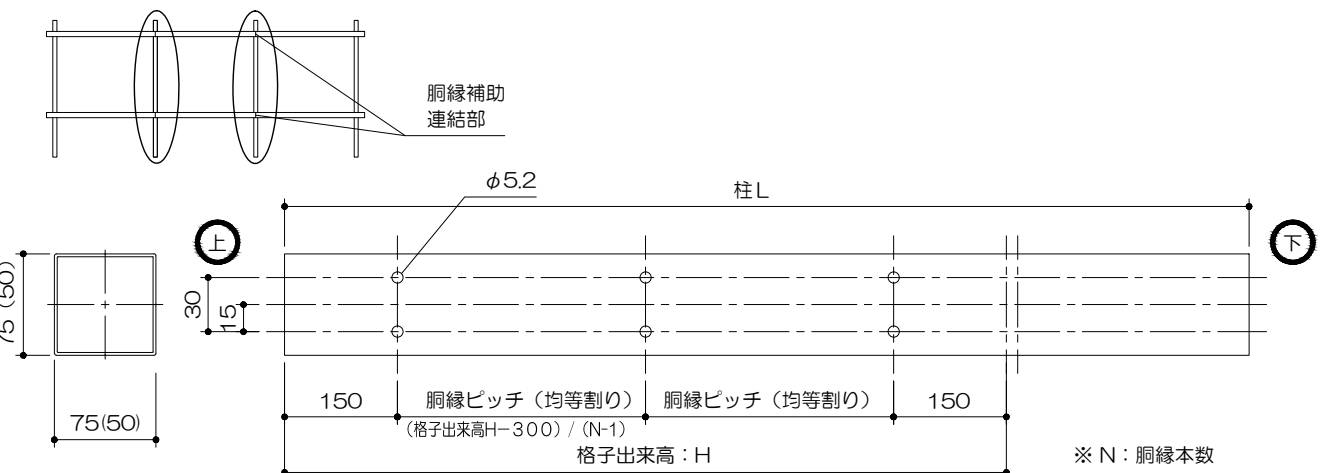


図8. 胴縁補助取付用下穴の加工(H>800)の時

組立手順

5 胴縁補助の取付

(1) 胴縁補助のφ6.5穴と柱のφ5.2穴の位置を合わせ、トラスタッピンねじφ6×14（3種）で固定してください（図9）。

注意

- 必ずワッシャー類をはめてください。
- 胴縁補助間寸法が胴縁ピッチと合っていることを確認して取付けてください。
- 胴縁補助を連結する仕様の場合は、柱中央で胴縁補助同士を突き当てて固定してください。

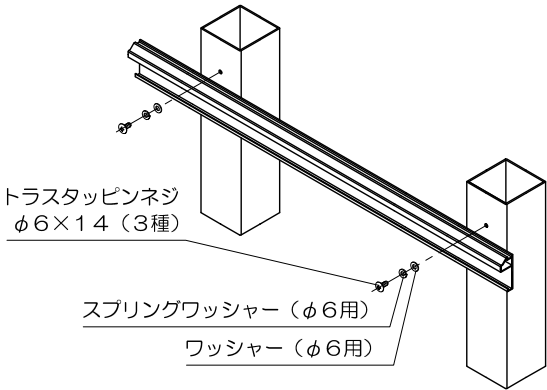


図9. 胴縁補助の取付

6 本体セットの取付

- (1) 本体セットの両端に胴縁キャップを取付けてください（図10）。
- (2) 胴縁補助に本体セットをひっかけ、ナベテクスネジφ4×16で固定してください（図11）。

注意

- 本体セットを連結する仕様の場合は、本体セットの種類を確認の上、正しく取付けてください。

図11. 本体セットの取付

7 注意ラベルの貼付

注意ラベルは、施主様の目の届く高さの見やすい位置（格子、胴縁補助、柱のいずれか）に貼り付けてください（図12）。

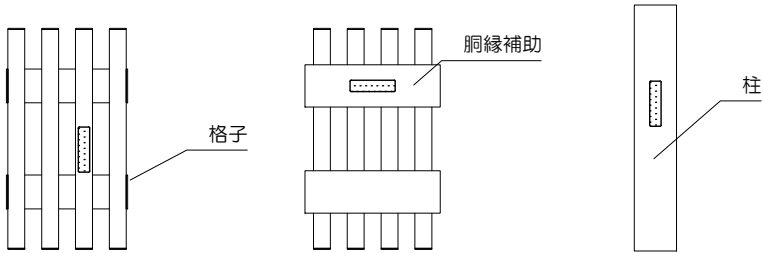


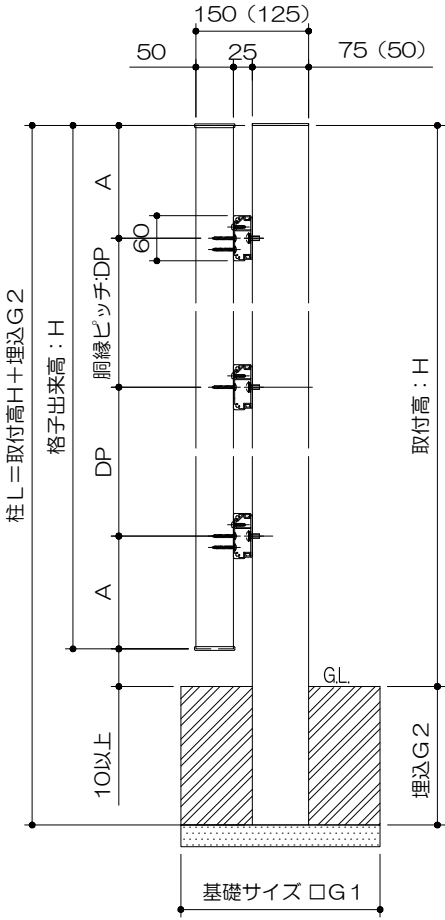
図12. 注意ラベルの貼付

参考納まり図（30×50格子の場合）

■格子タイプ（n：格子本数）

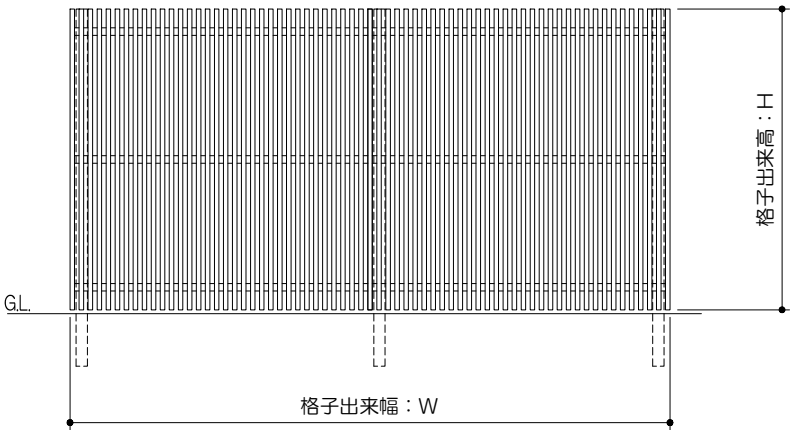
●30×50格子	●30×50格子（P=80タイプ）	●25×75格子	●25×100格子	●40×80格子	●100×25格子（板塀タイプ）
格子出来幅W 60n-30	格子出来幅W 80n-50	格子出来幅W 75n-50	格子出来幅W 75n-50	格子出来幅W 90n-50	格子出来幅W 120n-20
P=60 30 30 50	P=80 50 30 50	P=75 50 25 75	P=75 50 25 100	P=90 50 40 80	P=120 20 100 25

■縦断面図

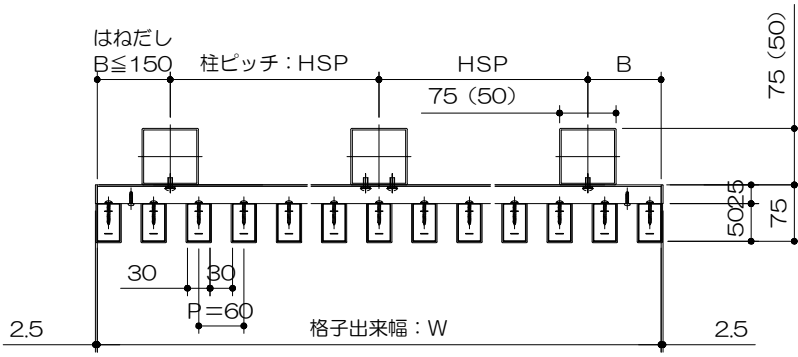


格子出来高H	A
H≤800	100
H>800	150

■姿図



■横断面図



格子タイプ	胴縁ピッチ：DP
30×50格子 30×50格子（P=80タイプ） 25×75格子 25×100格子 40×80格子	DP≤900

格子タイプ	胴縁ピッチ：DP
100×25格子（板塀タイプ）	DP≤600